

<多治見空手道教室だより>

R 2. 3. 7

新型コロナウイルスが中国の武漢で発生してから、中国からの観光客や帰国者、ダイヤモンドプリンセスの乗客などからの感染者が国内でも急激に増え出し、全国の小中高が休みになることになり、空手教室でも道場始まって以来38年で始めて長期の練習休止を決めました。私が会社勤めで東京に単身赴任していた2年間や海外旅行の時でも、半月以上も教室に顔を出さなかった事が無かったので、生徒の皆さんと会えないのは私が一番寂しいのですが、教室の皆さんの健康を守るためにはやむを得ないことだと思っています。



クリスマスローズ白 クリスマスローズ桃

空手が出来ない暇なので趣味の園芸に浸っていますが、我が家の庭では60株以上のクリスマスローズが満開です。

花が散ると種がこぼれて勝手に苗が生えて来るので、ポットに取って3年ほど育てると開花するし、手間いらずなのでとても楽しみです。

今回は2月に指導者が参加して実施した行事や、全空連昇級試験、教室の春季昇級試験の結果や本部の指導者講習会について、お便りを作成しメール送信します。

記

1. 東海地区審判講習会 2/9(日) 愛知県あま市体育館
教室からは青島、吉田、田口の3名が参加し、拳和会からも宗家他数名の先生が参加して、4大流派の先生が形の点数制への変更について説明し、各流派の選手に指定形を演武させ、参加者に点数を付けさせ、先生がそれぞれの形の評価をして、先生の点数も披露するやり方で講習を進め、糸東流は拳和会本部の選手2名がバッサイとセイエンテンの形を打ち、静岡県の糸東流の遠藤安治先生(全空連8段)が評価してくれましたが、我々の点数よりかなり厳しくて、特に指定形について今までは、国体選手等でも全空連のマニュアル以上に、オーバーな演武をしていた点もあり、指導者も速く力強くを意識した指導をして来たため、子供達もそれを真似していましたが、先生方のお話を聞いてマニュアル通りに行わないと、点数が出ないと感じました。
2. 連合会東海地区総会 2/9(日) ホテルサンルートプラザ名古屋
連合会の総会があり、青島は会計監査のため事前にメールで会計報告をチェックし、当日は通帳や領収書を確認して、総会では適正に処理されていることを発表しました。
6/21(日)の連合会東海大会について、①審判員は5名で得点板を用いて、技術と競技を合わせて一本にして出す。②0.2点間隔だと同点が多く出るので0.1点間隔で付ける。
③小学生など人数の多い予選では、同時に二人ずつ打たせて、審判は赤、青の順番で表示。
3. 全空連昇級試験 2/15(土) 小泉中学校武道場
県大会出場者のために、他の道場の人も含めて26名の方が受験し、全員が合格しました。
[多治見教室少年部合格者] 1級:大竹優吾、2級:磯貝英介、佐々 楓、
次回は3/28(土)に、小滝第1集会所又は小泉中学校武道場で、未受験者に実施する予定です。
4. 春季昇級試験 2/22(土) 小泉中学校武道場
[少年部] 1級下:林 千尋、4級上:○磯貝英介、4級中:佐々 楓、4級中:牧村謙佑、
4級下:中山真一、4級下:△梶田翔聖、9級上:☆野口和真、9級上:☆野口まりな
9級中:笠原時音、9級下:上田悠心、
[一般部] 1級中:阿南敬大、1級中:今村真也、2級下:梶田孝史、5級中:法輪 洋
6級下:村瀬洋美、
飛び級の上になった野口兄妹の作文は、基本や形の注意点を分かり易く記入しており、良く理解している事が解り、基本や形の実技もとても良かったです。△マークの翔聖は、基本も形も集中力が無く雑な印象ですので、指導者の特訓を受ける条件付きの合格です。



まりな 和真 悠心 時音 真一 楓 英介 謙佑



翔聖

千尋

村瀬

法輪

梶田

今村

阿南

5. 拳和会宗家による指導者講習会 2/23(日) 拳和会本部道場

指導者講習に参加したのは、青島、吉田、田口、杉森、前田の5名で、基本練習とニーパイポの両手突きは腰を正面に向けて素早く突く。蹴りは軸足に体重の載せて蹴るなどの基本練習をして、東海地区指導者講習会の注意点などの拳和会としての、考え方を宗家に質問し、バッサイダイ、セイエンチンについて指導を受けました。

基本的には全空連の昇段試験受験などでは、マニュアルどおりにする方が良いが、競技では例えばバッサイダイで左横払いは肩の高さだが低いのはダメ。この時の八字立ちの足幅は、踵が肩幅までならOKとする。後方への左右の拳穂打ちは下段払いでしっかり行う。

後方への上下両手突きは上腕を伸ばすつもりで突く。振り落としは肘を伸ばして、体側まで行ってから払う。右への掛け手の前には、左足を半歩斜め後方に引いて猫足を作る。

セイエンチンのサンチンの後の四股立ちからは最初は下段打ちで、次の下段払いは上腕と脇を引いてから行う。後半の揚げ突きは相手のアゴに当て、直ちに肩の高さに引き、相手の顔面に上段裏打ちを行うなど、マニュアルに沿った指導を受けました。



手刀受け



前蹴り



八字立ち



横払い



左右拳穂打ち



両手突き



振り捨て



右への掛け手